

みんなのひと

相模台



第 117 号

発行日 令和 7 年 9 月 30 日

発行相模台地区

社会福祉協議会

南区相模台1丁目13番5号

相模台まちづくりセンター内

☎042-705-1422

地区人口 44,921人

世帯数 23,612世帯 (R7.8.1現在)

市の人口総数 721,981人



第26回

相模台 福祉まつり

10月25日(土)

相模台公民館 10:00~15:00

笑顔で
つながる

音楽のイベント
もあるみたい!?
楽しそうね!



にこまると
遊んでね!



待ってるよ!
みんな来てね♪



にこまる



ご挨拶
相模台地区社会福祉協議会
会長 中村 明

皆様には相模台地区社会福祉協議会の各事業に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

2025年問題で超高齢化社会をどの様に支えていくか、地区社協に課せられた大きな問題です。

当地区社協では、基本理念として、「誰もが安全・安心して暮らせる地域づくりの推進」を掲げて、各活動をしております。

「サポートセンター楽らく」では、地域の憩いの場、ふれあいの場として、様々な活動をしています。昨年9月には、麻溝台地区に2か所目の楽らくを開所しました。「いきいきサロン・子育てサロン」の活動は民生委員・児童委員の協力の基、各地で活動推進しています。

高齢者の知識、健康維持を高めて頂くために、年2回、福祉講座を開催しています。福祉講座では各視点から、問題を掘り下げて、講座を開催しています。また、今年も敬老事業として80才以上の方に御祝品を差し上げております。

当地区社協の最大事業であります「福祉まつり」を10月25日（土）に公民館全館で開催いたします。皆様のご来場をお待ち申し上げます。

支援が必要な人が「住み慣れた地域で安心して暮らしていく」には、世代間を超えた地域全体が協力し支え合っていくことが大事なことです。少子高齢化社会それぞれの課題をみんなど考え、協力して解決を図っていく。地区社協の使命ではないかと思ひます。地域の皆様には今後の事業実現に向けて更なるご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。

令和7年度定期総会開催

日時：令和7年5月27日（火）

会場：相模台公民館大会議室

総会案件審議にあたり、すべての議案について慎重に審議されました。各議案とも提案通り満場一致をもって可決承認されました。

多額のご寄付をいただいた「三光ホーム株式会社」様に感謝状を贈呈いたしました。

長年に渡り地区社協役員を務められた小川政義さんが退任されました。ありがとうございました。



表彰：三光ホーム様

令和7年度 相模台地区社会福祉協議会役員

会 長	中 村 明（自治連）
副会長	戸 部 恵美子（民児協）
〃	枅 田 貞 明（自治連）
〃	林 伸行（自治連）
会 計	江 口 洋 子（民児協）
監 事	星 野 睦 子（民児協）
〃	有 村 晴 信（老 連）



定期総会

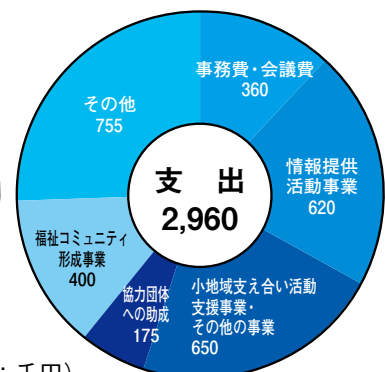
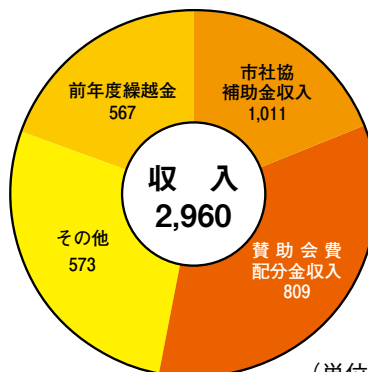
●出席者数総議決件数103件

出席者30名、議決権委任者60名	合計90名をもって総会成立
一号議案	令和6年度事業報告
二号〃	令和6年度収支決算報告
三号〃	福祉基金管理運用報告備品目録
四号〃	会計監査報告
五号〃	令和6年度社会福祉活動推進
六号〃	功労者受賞報告及び相模台地区社協感謝状贈呈
七号〃	令和7年度役員・理事報告
八号〃	令和7年度事業計画
	令和7年度収支予算

会費・募金募集へご協力頂き ありがとうございます

赤い羽根募金、年末たすけあい募金等の募金活動と、赤十字会員増強運動、市社協賛助会員の募集活動は、自治会を通して行い、地区社協の取り組みの活動財源となっています。また、街頭募金、校内募金等も募金活動の大きな力になっています。ご理解とご協力をお願いいたします。皆様から頂いた会費・募金は、地域の福祉活動に大切にに使わせていただいています。

令和7年度相模台地区社会福祉協議会収支予算



（単位：千円）

令和7年度

相模台地区社協の取り組み



重点目標：誰もが安全・安心して暮らせる地域づくりの推進

- ①ボランティアの育成と活動の活性化 ④「サポートセンター楽らく」
 ②いきいきサロン・子育てサロンの推進 (福祉コミュニティ形成事業) の運営・推進
 ③児童・障がい者に関する福祉啓発活動の推進 ⑤高齢者の介護予防・生きがいと健康づくりの推進

総務企画部会の事業

◆調査、事業の企画・立案

◆理事研修会の企画



令和6年度 理事視察研修

◆広報紙の発行

「みんないいひと相模台」を年2回発行、地区社協の取り組みをご紹介します。



総務企画部会 会議の様子

◆福祉講座の開催

身近な福祉をテーマにした講座を開催します。

◆第26回 相模台福祉まつりの開催

10月25日(土)に開催予定です。大会議室で音楽イベントなどを開催。介護・健康の相談、地域作業所の手作り作品の展示・販売等を通じた福祉啓発に取り組みます。

高齢者福祉部会の事業

◆いきいきサロンへの支援

地区内14か所で開催されているいきいきサロンの活動の支援等を通じて、高齢者の方の憩いの場づくりに努めます。



サロン協力者研修会 風景

◆ひとり暮らし高齢者お手紙訪問

75歳以上のひとり暮らしの方(希望者)に、季節に合った手書きの挨拶状をお持ちいたします。

◆ラジオ体操の実施

毎週火曜日午前8時から、相模台公園で実施しています。



ラジオ体操の様子

児童・障がい者部会の事業

◆児童・障がい者に関する講演会、体験会、映画会の開催



福祉用具体験会

◆児童・障がい者関連施設等の見学・研修

◆子育てサロンへの支援

子育てサロン「わくわく南台」の活動の支援等に努め、子育て中の親子の仲間づくりに努めます。

◆子育て情報紙「ぴよぴよ」の発行

子育てにまつわる情報を年2回お届けします。



ぴよぴよNO.35号

◆相模台地区社協 構成団体◆

- ・相模台地区自治会連合会
- ・相模台地区民生委員児童委員協議会
- ・相模台地区保護司会
- ・相模台地区老人クラブ連合会
- ・相模台地区青少年健全育成協議会
- ・市立南障害者地域活動支援センター
- ・相模台第1包括支援センター
- ・相模台第2包括支援センター
- ・相模台公民館
- ・相模台商店街連合会

相模台地区社会福祉協議会
福祉まつり実行委員の皆さん

相模台地区社会福祉協議会の活動についてのお問い合わせは、

令和7年度福祉講座
《認知症を知る》～認知症になって
もいきいきと暮らせる地域づくり～

令和7年8月2日(土) 相模台公民館にて相模原市チームオレンジサポートセンターの糠信千代子氏、デイサービス・BLG相模原の方々による福祉講座が開催されました。現在、高齢者の約20%が認知症を発症すると言われております。この認知症を正しく知ることが非常に大切なことです。定義から始まり、種類、原因、過程、遅らせるポイント、対応の仕方などわかりやすく解説していただきました。

認知症とは「認知機能が後天的な脳の障害によって持続的に低下し日常生活や社会生活に支障をきたす状態」と定義されます。アルツハイマー型やレビー小体型など4つに分類され、糖尿病、脳血管障害などの病気や薬などによって発症します。記憶をつかさどる大脳の一部に支障をきたし覚えにくくなります。適切な医療適切な関わりが進行を遅らせるポイントです。私たちは常に「記憶」を頼りに生活しています。認知症になる

と持続的に記憶保持力が低下していき、わかりにくくなっていきますが、わかることもたくさんあります。そうしたことを周りの方々は理解し、「適切な関わり方を学ぶ」「やさしく見守る」などの対応が大事です。

講義のあと、認知症のある方(BLG相模原)の素晴らしい歌声を聞かせていただいたり、生活の実態を聞かせていただきました。認知症の方々の「生きがいを持つて、人との接点を持ち、前向きに生きる」こんな姿を見て感動しました。今回の講座を通して、認知症の正しい理解、認知症のある方の素晴らしい生き方を学びました。大変すばらしい講座でした。

(林 伸行)



糠信 千代子 氏

令和6年度福祉講座
今日からはじめてみませんか？
～脳いきいき生活をめざして～

令和7年2月1日(土) 相模台公民館にて福祉講座を開催しました。認知症の最新情報をNPO認知症サポートセンターの城直美氏を講師にお招きして、第一部は「認知症との共生と予防」の講義、第二部は「歌って、笑顔♪みんな元気」と講師の城先生のピアノ演奏に合わせて参加者全員で合唱しました。

認知症は、何らかの脳の病気によって記憶力などの認知機能が低下し仕事や日常生活に支障をきたした状態です。1. 最近のことは覚えていない？ 2. 物忘れの頻度が多い？ 3. 段どりが悪くなる(行動がゆっくり) 4. ミスが多い読み書きができないなどの自覚症状を感じている人も多いと思いますが、最近の調査で、認知症の前段階、軽度認知症(MCI)の該当者は472万人(平成25年)推計されていますが令和7年には564万人に達する見込みです。もしも何もしなかったら1年後はさらに

に増える見込みです。

認知症は急にはなりません。自覚症状がないままに6年から7年かかります。認知症は誰でもかかりうる病気ですが、認知症の進行を遅らせることは可能です。それは日頃から①新しいことに取り組む・計画する②注意分割機能を鍛える(二つ以上の機能を使う)③運動不足や食生活の改善です。

また、認知症の人に関する正しい知識も必要になります。私たちに何が出来るか？家族が一方的に施設に入所させたり、病人扱いして排除しない事。認知症の人が日常生活を送るために、何に困っているか？何が出来るか？・施設に入所するにしても本人に納得(承諾)してもらう事も大切であるとお話がありました。

(小室 智)



城 直美 氏